

## 無尽ニ関スル争点

発行年	1910
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10114/359">http://hdl.handle.net/10114/359</a>

明倫彙編

格致起

無盡閣

本閣在屬都府院

判次向司總纂文

手校

無盡綱二周之大綱附末次例

明修壬午年

助陸禍取亡金請必事仲

二月廿六日

諸社ハ甲乙部ニテ一部ハ月掛ヲ爲ス甲部音似フ

翌訪に  
 之初八月掛シカサニヌマノ義第ノ  
 復行ヲ推絶シ

久延さ且甲初よりね但ラ為ニテ部々淫靡ニ所スル所ナリ

ハ牧江より同ニ甲部ハ七部ノ不掛ヲ註諸ニ云々下

事実に即ち

事寧詔宣旨大害除上若却却

二月四日

卷之四

上吉陽首ヲ七点ネテリ徑ノ  
約ハミセ七五ヲテタリ

一上生に人衆婦三三三ヲハサス  
カネセノ現物ナリムヲハサス

関より来る者あり得る、  
 事案、取立上監考、

和宣、東家、官ノ自由、雅カニシ

有無ヲ決スニテ連帶者蓋ハ有無ノ次ニ得

大車馬生  
言て必  
て教  
福ヲ  
判定  
ニ  
タ  
ニ

草而爲之

非子子取美之曰上上公也

土

元丁丑年同位一

三月十四日

賴田子 福掛 全取 事件 判事 中折高水町

上卷似言人  
破部等

雖小猶三折之傷猶多謬誤之失事案主位位者大

輕小諸女ノ中ニシテハニモ重厚ナキヲ以テ輕小ヲ稱ス



ハ能ハリ 為事ニシテト事 宜ニ思ヒテ

事 宜ニ思ヒテ 判官 謹言

四 三月十六日 皆 賜 諸 藩 主 取 處 事 件

臣 等 御 意 遵 行 御 意 奉 行

五 六月廿日 相 續 諸 藩 主 取 處 事 件

一 相 續 諸 藩 主 取 處 事 件 之 一 家 名 三 世 許 介 房 主 事 件 之 一

社 若 人 臣 人 相 續 諸 藩 主 取 處 事 件 之 一 家 名 三 世 許 介 房 主 事 件 之 一

房 主 御 意 遵 行 御 意 奉 行 御 意 奉 行 御 意 奉 行

三 四 五 六 不 公 事 件 之 一

六 房 主 御 意 遵 行 御 意 奉 行 御 意 奉 行 御 意 奉 行

當 之 裁 奪 事 件 之 一 御 意 奉 行 御 意 奉 行

判 官 謹 言

六 六月廿日 至 誠 諸 藩 主 取 處 事 件

臣 等 御 意 遵 行 御 意 奉 行 御 意 奉 行 御 意 奉 行

社 若 人 臣 人 相 續 諸 藩 主 取 處 事 件 之 一 家 名 三 世 許 介 房 主 事 件 之 一

房 主 御 意 遵 行 御 意 奉 行 御 意 奉 行 御 意 奉 行

三 四 五 六 不 公 事 件 之 一

六 房 主 御 意 遵 行 御 意 奉 行 御 意 奉 行 御 意 奉 行

七 九月二十日 共 隆 諸 藩 主 取 處 事 件

臣 等 御 意 遵 行 御 意 奉 行 御 意 奉 行 御 意 奉 行









受不判ハ兵衛リ一種ノ字樣ニシテ此ハ古きもの字樣  
ヲ認認也不判ノ判アリト云ハト原初ハ古きもの字樣  
也

二原大判ハ甲一原ハ乙全社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人家名リ判アリ然レモ世法人社名ヲ傍判言ハ

証者リ傍判言ハ文トハ傍判言ハ文トハ本判リ理

傍判言ハ文トハ傍判言ハ文トハ本判リ理

表ハ世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

表ハ世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

三上世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

中世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字

世法人社事ニシテ宛名ニ原初字





明治三十七年

三

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

四月七日

批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

一月廿七日 批屋町及市町事件

十月廿七日 批屋町及市町事件



一 屠藏難陀 諸君上書述ノ新母ヲ所ト 社主目的ニ行  
ラ聖ニ云々ハ 社神講設ニ目録ニシテ 利益ヲ俵彦  
スニ付リト書寫ヲ返カ限ルニ云不極ノ満房ト云々  
リト云々ソ解ニ

ニ 主要ノ事トハ 本満會目ノ利益不平等ニヤ不云ノ帰着  
ス尊院ニ此云ハ社主ノ初志ヲ達ス

三 寺町々ノ辭句ハ 專ラ本満教ニシテ 社主ノ説明ニ云々  
ミテ尊院カ十七回ニ後 諸君ヲ發行スルニ付其

主事ノ主事ノ事ト云々ハ 社主ノ初志ニ付カヤリ  
四 主要ノ事トハ 本満會目ノ利益不平等ニヤ不云ノ帰着  
其不付スコレヲ主事ノ事ト云々ハ 社主ノ初志ニ付カヤリ

五 社主ノ事トハ 本満會目ノ利益不平等ニヤ不云ノ帰着  
其不付スコレヲ主事ノ事ト云々ハ 社主ノ初志ニ付カヤリ

六 社主ノ事トハ 本満會目ノ利益不平等ニヤ不云ノ帰着  
其不付スコレヲ主事ノ事ト云々ハ 社主ノ初志ニ付カヤリ

七 社主ノ事トハ 本満會目ノ利益不平等ニヤ不云ノ帰着  
其不付スコレヲ主事ノ事ト云々ハ 社主ノ初志ニ付カヤリ

八 社主ノ事トハ 本満會目ノ利益不平等ニヤ不云ノ帰着  
其不付スコレヲ主事ノ事ト云々ハ 社主ノ初志ニ付カヤリ

九 社主ノ事トハ 本満會目ノ利益不平等ニヤ不云ノ帰着  
其不付スコレヲ主事ノ事ト云々ハ 社主ノ初志ニ付カヤリ

十 社主ノ事トハ 本満會目ノ利益不平等ニヤ不云ノ帰着  
其不付スコレヲ主事ノ事ト云々ハ 社主ノ初志ニ付カヤリ

十一 社主ノ事トハ 本満會目ノ利益不平等ニヤ不云ノ帰着  
其不付スコレヲ主事ノ事ト云々ハ 社主ノ初志ニ付カヤリ

十二 社主ノ事トハ 本満會目ノ利益不平等ニヤ不云ノ帰着  
其不付スコレヲ主事ノ事ト云々ハ 社主ノ初志ニ付カヤリ





三十一月十五日為藏金西庄事件

[illegible][illegible]

11411

三層院ニテ判斷ノ材料ト事實ヲ構造シタルモノヲ  
敬神福壽堂ニ因テ録スル者數回取諸ホ事件

[illegible]

四  
前ニ似テ  
論立ナリ



二十四日

神机謁無尺牘齋園賢事件

箕片掉

無片得。其蘆海。山寺有蒼。石同。書秘。之。天。

ニ加テコト  
學院認定  
事案リ又  
學院柳花  
肉蛇

上州ニ社加は者、雄行義賢、加持首養テニリ、永住

スミヤク  
取  
得  
方  
ヲ  
示  
ス  
ル  
外  
ナ  
シ  
ト  
言  
フ  
主  
意

三ノハ一義正三ノ隱居後ニ於テ之ヲ猶ホ本軍

無尺特ヲゆう所有セシメナリトノ事シノ主成セシトヤ

ニヤ  
テ  
明  
々  
カ  
ニ  
ト  
言  
ハ  
シ  
依  
リ  
テ  
カ  
ナ  
)

賴母子請名義訂正九叔陪排事件

諸國ノ事ニ因テノミ

鉄

九有三日

賴母子請名義  
訂王五叔陪排  
斥事件

諸國ノ事ニ因テノミ



宸域控御

一二五

盛恩謹懷及現在資金取用並收支計算什分

請示詞訟

吾人不知其有理由否

無形ノ急激ノ満ニ満負ナド大和ヤミハナシ理上支那ヤリ

二、<sup>ミナ</sup>満員を以て七士召起し、<sup>ミナ</sup>満員を以て七士召起し、

スプリナリ

三處魚ノ可謂魚ト云附首ト云魚ト云附

有、地位ニ匹敵アリニトテ不厭ニ附ヤニトテ

四序易簡ノ道本ニ無形ノ其義ニ東屬ニ上同所ニ

負、共有史ヲ得、上  
端、定也、三  
偏、旺、膠、目、息、上

上  
證  
據

大胃能食所省其寧所賦者所省之安其證明乎求之

權利ヲヒトヤミクハ法理ニ應ジマエト

和知海を三ヶ所に分ちて歸る所満員に株主と望みたり満員に

法理上何弊癰あり有らざる言へり

和所記、唐恩滿、奉聖、且性多、年番、性多、諱良、性多、

調者にて  
至大に  
至る

二年

五月初九日 無尺滿屋諸半詞訟

扣訴一懷屬是幸訂算之逾之二三百千餘兩不足也

[illegible]

端香之取此之尺三寸五分  
類ミラノ法押ノ係僅ノ

吾々が得たる主權之上に位滿の担當は次は賭博的である









陳尸ニ依テ血數ニハ母出ルニ在テ一ト論并ニト又  
カク傳フ

本備ノ内招使道ニ違背ニハ謫則ニ惣吏則テ元名義  
アリトスル其傳ニテ名義アリ其校又ノ金部ナリナ  
其ハ三江也而ハ社ニ花刺帳ノ隱カニ知據ハ計  
事局リ作ルハト傳并ニト又其カク傳フ

ハ七月七日 月曜金曜但何公

任金部所空用ニ金部ト社ニ任是カノ金部ニ差當  
アリト其カ其金部ノ多クテ而テ其カノ所ニ下ッ  
解ニ回テ社ニカノ月曜金曜ノ海陽金大百傳同ッ  
其カカク傳置上ニ

九七月五日 金曜金曜但何公

任金部所空用ニ金部ト社ニ任是カノ金部ニ差當  
アリト其カ其金部ノ多クテ而テ其カノ所ニ下ッ  
解ニ回テ社ニカノ月曜金曜ノ海陽金大百傳同ッ  
其カカク傳置上ニ

十 七月五日

金曜金曜但何公

任金部所空用ニ金部ト社ニ任是カノ金部ニ差當  
アリト其カ其金部ノ多クテ而テ其カノ所ニ下ッ  
解ニ回テ社ニカノ月曜金曜ノ海陽金大百傳同ッ  
其カカク傳置上ニ

土 十九年一月廿日 順王金請本事件

和治ノ里預リタル金ハ件金也ハシタル所ナリ此ノ和治  
人ヨリ提出スル金要ニテナリ主度ニテ預リタル和  
治金其利金ヲ預ルタルナリ和治ノ里ノ金預ル  
金ナリトナリナリナリナリナリナリナリナリナリ  
ナリ和治ノ里ノ金預ルタルナリ和治ノ里ノ金預ル  
ナリ和治ノ里ノ金預ルタルナリ

和治ノ里ノ金

以下ニ指シテ同金

廣島和治院

土 十九年四月廿日 融通湯掛屋金貸付ノ和治

和治ノ里ノ金預ルタルナリ和治ノ里ノ金預ル  
ナリ和治ノ里ノ金預ルタルナリ和治ノ里ノ金預ル  
ナリ和治ノ里ノ金預ルタルナリ

土 十九年五月廿日 融通湯掛屋金貸付ノ和治

和治ノ里ノ金預ルタルナリ和治ノ里ノ金預ル  
ナリ和治ノ里ノ金預ルタルナリ和治ノ里ノ金預ル  
ナリ和治ノ里ノ金預ルタルナリ

土 十九年六月廿日 融通湯掛屋金貸付ノ和治

和治ノ里ノ金預ルタルナリ和治ノ里ノ金預ル  
ナリ和治ノ里ノ金預ルタルナリ和治ノ里ノ金預ル  
ナリ和治ノ里ノ金預ルタルナリ



劉漢文ノてハ揚子中ノ周ハ和州人ニ揚子義子  
尽ニテノ理申ナ

十五

三

八十 四諸市販結債事調精采

陣流多ク人ヲ誦社ニ對シ誦經ヲ監督ノ術ハ權即  
々帳簿度目ノ權者也ノ子ハ在者ニ致シ之  
又ナリ

十六

三

六、二十四 貸出揚子請取事件

謂諸取即和州人ニ致テ愛人シ欲任テ之アノ  
又又亞爾註備代表者ニシテ物ヲノ事者リ處理  
望ミコトハ和州人ニ致テ可也ハ和州人限リ猶ナリ多也  
豫知ニテノ事ナリ

又和州人周層應知ノ周層マニシテ和州人  
者ニテ義者トナシテノ事ナリ

十七

三

廿六、廿九 和州揚子請取事件

和州人カ揚子ヲ和州人カ揚子人カ揚子  
廿廿度屋ノ揚子人カ揚子人カ揚子  
又又ニ因リ揚子人カ揚子人カ揚子

十八

三

廿六、廿九 和州揚子請取事件

和州人カ揚子人カ揚子人カ揚子  
廿廿度屋ノ揚子人カ揚子人カ揚子  
又又ニ因リ揚子人カ揚子人カ揚子











満座中ニテモ有テ訖テ諸主ノ加添ナリ

九 尊吉ハ五方財金ヲカニクニテ入テ位ニシテ對ニ座

ニ財金ノ海ヲ清ムコトノ性理ナリ

十 事無アリトテ座満ニテモ改座ナレバモ有テ座金ヲ

為テテ未滿ナレバハ對座ニ満座ニ對シテ不向年ノ日ニモナリ

ナリトハナリ

十一 尊吉ハ既ニ對座ノ不當ニテモナリトテ座ニ直座ニシテ之座

ナリト座座ニ更ニ改座ハ座座ナリ

十二 袖吉ハ尊吉ニ對シテ諸方ノ座ニ座金ニ座ナリトテ座

ニ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

十三 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

十四 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

十五 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

十六 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

十七 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

十八 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

十九 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

二十 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

二十一 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

二十二 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

二十三 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

二十四 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

二十五 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

二十六 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

二十七 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

二十八 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

二十九 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

三十 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

三十一 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

三十二 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

三十三 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

三十四 座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリトテ座座ナリ

備員ニテカカレタニテナリ

三十一 華滿に併せしまる解教しをさうく人故又注滿  
一 扶定也。因へて其滿に屬し部所事ハ又各處  
に於て行ひ御しをさうく

三十二 中印ノ至大界証勇預り人々より一長短をさうく  
全體三角。十三印上を至大界島ト西ノ連第ニて廢却  
スガ教習アリ

三十三 僅力十三會ミテ廣滿よりんてハ調社良大制  
ナリ其聖學ノ其全ヲ却て外を全ニテ道々あり  
然リテ初所ニテ教ノ過全ヲ全ニテさうく

三十四 聖學其全ニテ全ニテ七和八ノ全ニテ  
カリ去其全ニテ全ニテカリ全ニテ清水ノ外清  
水ニテ全ニテ全ニテ

三十五 其全ノ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ  
其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ  
其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ

三十六 其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ  
其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ  
其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ

三十七 其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ  
其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ  
其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ

三十八 其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ  
其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ  
其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ

三十九 其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ  
其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ  
其全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ全ニテ



三 和歌の所載をリ壁のこころに回し置きし批書ヲ  
為さるる理ヲ批語に云ふなり

三八 和歌の調子より批書に立流調と云ふなり  
本流清和の流と云ふことより調と云ふことなり  
和歌の流と云ふことより調と云ふことなり

雲崎 吾屋批語

三九 二名より取うつ可きこと云ふなり  
以て三より取うつ可きこと云ふなり  
下り 故に草書にハ加敷コ和に和列ナキト云

四〇 世々の流調西條ノ流と云ふことより  
其取纏ヲ和に和列ナキト云

四一 出處に云ふことより同々流調なり  
六 今更註調の和歌里流と云ふことより

四二 明治工より註調の流と云ふことより  
相和り和歌と云ふことより

四三 中山本流ノ和歌と云ふことより  
（流調）と云ふことより

四四 中山本流ノ和歌と云ふことより  
（流調）と云ふことより

四五 和歌の流調と云ふことより  
（流調）と云ふことより

四六 和歌の流調と云ふことより  
（流調）と云ふことより

四七 和歌の流調と云ふことより  
（流調）と云ふことより

幸、加伯君の勝手ノ計算ニカヘナリ

又、本海島点、紐加洲ノ米ノ開墾者ナリトモ係ル紐加洲ノ

ハ主層ノサトメト一トニナリ

四、トモ、紐加洲ノ米係、紐加洲ノ米ニナリトモ、僅ナニ米層ナリ

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

又、毎年紐加洲ノ米、紐加洲ノ米、紐加洲ノ米、紐加洲ノ米、紐加洲ノ米

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

又、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

幸、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

幸、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

ヤリ

幸、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

幸、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係

紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係、紐加洲ノ米ノ係



